

ANNUAL REPORT 2024



2024 年度 事業報告



HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL

01 はじめに

病院長あいさつ	1
---------	---

02 病院理念・基本方針

病院理念	2
基本方針	3
患者様の権利について	4
安全・安心な医療環境	4
医療情報の開示について	5
看護の基本方針	5

03 病院年譜

病院年譜	6
2024 年度のできごと	9

04 病院概要

病院概要	10
施設基準	12
主な対象疾患	13

05 組織図

財団組織図	14
委員会・会議組織図	15

06 教育・広報活動

学会発表	16
講演会	17
院内研修	18

07 事業報告・計画

2024 年度 病院事業報告	20
2025 年度 病院事業計画	21

08 診療科案内

消化器内科	22
消化器外科	23
生活習慣病（膠原病・リウマチ・痛風）外来 /	
糖尿病外来	24
化学療法外来	25

09 部署紹介

看護部（外来・病棟・手術室）	26
放射線科	28
内視鏡センター	29
臨床検査科	30
生理学・超音波検査科	31
ME 科 / 薬剤科	32
栄養科	33

10 委員会活動報告

医療安全管理委員会	34
院内感染予防対策委員会	35
教育委員会	36
倫理委員会	37
薬事審議委員会	38
個人情報保護管理委員会	39
褥瘡対策委員会	40
NST 委員会	41
栄養管理委員会	42
緩和ケア委員会	43
防災対策委員会	44
安全衛生委員会	45

11 診療に関する統計

外来患者	46
入院患者	47
手術室・中央材料室	48
放射線科 / ME 科	49
内視鏡センター	50
臨床検査科	51
生理学・超音波検査科	52
薬剤科	53
ストーマケア / 栄養科	54
病診連携室・医療相談室	55

病院長あいさつ

病院長

小池 伸定 Nobusada Koike



2020年3月に始まったCOVID-19パンデミックにより、医療界全体が感染症対策に追われ、それぞれの病院が本来の機能を超えて対応せざるを得ない日々が続きました。この間、当院も消化器疾患の後方支援に専念し、地域医療への貢献に努めて参りましたが、ようやく医療現場にも日常が戻りつつあります。

当院は1983年（昭和58年）の開院以来、地域に密着した消化器疾患専門病院として歩みを進め、本年度43年目を迎えました。基本方針である「地域に根ざし、安全・安心な医療を提供すると共に、誇りある職場環境を築くこと」を基盤に、2002年の病院移転後も変わることなく八王子の地域医療に取り組んで参りました。現在、病床数98床、職員数220名、常勤医師8名・非常勤医師35名の体制で診療を行っております。

2024年度の診療実績は、1日平均外来患者数198人、病床稼働率70.5%、平均在院日数5.8日でした。外科手術は574例に達し、そのうち7割以上を腹腔鏡下手術が占め、その割合は増加傾向にあります。検査部門では上部・下部消化管内視鏡検査が計約10,000件、食道・胃・大腸ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）：93件、ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）：132件、EUS（超音波内視鏡）：143件を実施しました。化学療法については、非切除例や術前・術後症例にも対応し、高次機能病院と同等の治療水準に努めております。また、病状が進行し自宅療養が困難となった患者に対応するため緩和病室を運用し、がん拠点病院との連携も進めております。

2024年4月からは医師の時間外・休日労働に上限規制（月100時間未満・年960時間未満）が導入されました。それに対応すべく当院では、勤怠管理の徹底、宿日直許可の取得、業務時間内での会議開催、さらには医師業務のタスク・シフト/シェアを推進し、職員全体で業務効率化を図っております。

しかしながら、2025年春の日本病院会等の発表によりますと民間病院の6割が赤字という厳しい経営環境にあり、当院も例外ではありません。診療報酬改定を待つだけでは乗り越えられない状況にあり、さらなる変革と改善が求められています。

その一環として、火曜日・金曜日の午後は外来診療を完全予約制とし、内視鏡検査や手術に医師を重点配置しました。ニーズが増加している下部消化管内視鏡検査を午前から開始できるよう体制を整え、また鎮静下での上部消化管内視鏡検査にも柔軟に対応できるよう院内の運用を見直しております。さらに麻酔科医師を増員し、麻酔科外来の拡充と緊急手術への対応強化を進めております。

今後も消化器疾患に専門特化した病院として、医師をはじめとする多職種が連携し、地域医療の一翼を担って参ります。

02 病院理念・基本方針

病院理念

患者様のための医療

私たちは、
患者様に健康な生活を
とり戻していただくため
ここに掲げる理念のもとに
心をこめた医療を行います。

基本方針

消化器疾患の専門病院として

消化器疾患とその関連領域において、最新の知識と技術のもとに高度専門医療機関として地域の中核的役割を果たします。

地域に密着した病院として

地域の皆様の病気の予防と健康保持のため健診・保健指導およびセミナー等の医療啓発活動を積極的に行います。

さらに地域医療機関等との連携を深め、地域医療体系の一翼を担います。

安全・安心な医療のために

施設、設備面の安全性・快適性を常時点検整備します。

さらに安全度の高い医療を実現するために全職員に対し研修・教育を行います。

誇り高い職場環境のもとで

全職種の職員全員が対等の立場で、互いに連携した協同医療をすすめます。

そして、一人ひとりが倫理を重んじ、豊かな人間性を養い誇り高い職場環境作りを目指します。

02 病院理念・基本方針

患者様の権利について

- 全ての患者様が平等かつ公平に、良質な医療を受けられることを保証します。
- 患者様の診療内容について、納得のいただける十分な説明を行います。
- 診療方針や治療方法は、患者様自身が自由に選択をすることができます。
- 診療の内容について、同意または拒否をすることができます。
- ご自身の病気について、他の医師・施設の意見を求めることができます。
その際、当院ではあらゆるご協力をいたします。
- ご自身の秘密や尊厳は、常に保護尊重されます。
- 宗教や信条などを尊重される権利があります。

安全・安心な医療環境

患者様に安全・安心な医療を受けていただくために 当院では以下のことを行っています。

- 患者様の医療安全確保のために、医療安全管理委員会を設置し定期的に開催しています。
- 医療事故発生時は、患者様の安全確保を最優先しその後に誠意をもって説明責任を果たします。
- 事故原因を徹底的に分析し、その結果を公表して再発の防止に努めます。
- 最新の医療知識と技術を得ること、正確・迅速な事務処理を行うため教育委員会を設置して安全教育の徹底をはかります。
- 患者様方との好ましい人間関係を構築し安心な医療を提供できるよう接遇向上に努めます。

医療情報の開示について

病院内の医療情報は開示され
すべての職員が共通の認識で患者様の安全を守ります。

- 患者様と医療従事者が医療情報を共有することにより良好な関係を保ちながら病気を克服していただくための努力を惜しみません。
- 医療情報の提供は、必ず患者様の同意を得た上で行います。
また、知り得た情報は厳重に管理し、決して第三者に漏れることはありません。
- 開示対象となる医療情報は、診療を目的として病院が作成した記録の全てを指し患者様の求めに応じ閲覧・口頭説明・コピーの交付または診療要約書の形で提供されます。
- 開示を求めることができるのは原則として患者様ご本人となります。
なお、患者様の承諾を得たご家族や法定代理人等の求めに応ずることがあります。
- 医療情報の開示が患者様ご本人の心身の状況を著しく損なう恐れがある時や第三者の利益を侵害する恐れがある時は、これを拒むことがあります。

看護の基本方針

- 療養中の安全
私たちは、患者様に安全・安心と快い療養環境の中で看護を受けていただくために細心の心配りをいたします。
- 質の高い看護
私たちは、患者様に満足をしていただくために、確かな看護技術と専門看護の知識向上に努めます。

03 病院年譜

病院年譜

年 月			内 容
昭和	58 年 (1983)	5 月 17 日	■ 医療法人財団 聖仁会 中山記念胃腸科病院開設 (八王子市子安町 3-18-1) (78 床 胃腸科・外科・内科) ■ 保険診療指定医療機関 ■ 労災指定医療機関 ■ 中山 恒明 理事長就任 ■ 辻村 深治 病院長就任
		5 月 20 日	■ 生活保護法指定医療機関
	59 年 (1984)	1 月 9 日	■ 人間ドック開設
		4 月 1 日	■ 東京女子医科大学関連病院
		5 月 10 日	■ 開院 1 周年式典
		6 月 9 日	■ 結核予防法指定医療機関
平成	60 年 (1985)	1 月 1 日	■ 林 恒男 病院長就任
	61 年 (1986)	9 月 7 日	■ 新館増築工事 78 床より 104 床に増床
	63 年 (1988)	9 月 16 日	■ 開院 5 周年式典
	元 年 (1989)	7 月 1 日	■ 日本消化器病学会認定医施設関連施設
	3 年 (1991)	8 月 14 日	■ 人間ドック増設 (半日コース)
		10 月 1 日	■ 八王子市大腸がん検診実施医療機関
	5 年 (1993)	1 月 1 日	■ 日本消化器外科学会専門医修練施設
	6 年 (1994)	5 月 28 日	■ 開院 10 周年式典
	7 年 (1995)	1 月 1 日	■ 院外処方開始
		10 月 1 日	■ 薬剤管理指導施設基準
	8 年 (1996)	4 月 1 日	■ 医療法人財団 中山会 八王子消化器病院に改称
		10 月 1 日	■ 羽生 富士夫 理事長就任 ■ 104 床より 98 床に減床
	9 年 (1997)	12 月 1 日	■ WOC 看護認定看護師によるストーマケア・褥瘡ケア開始 ■ 日本消化器内視鏡学会指導施設
	10 年 (1998)	3 月 1 日	■ 糖尿病専門外来開設
		7 月 23 日	■ 麻酔科開設
	11 年 (1999)	10 月 1 日	■ 鈴木 衛 病院長就任
	12 年 (2000)	4 月 1 日	■ 介護保険指定事業所
		6 月 1 日	■ 無菌製剤処理施設基準
		10 月 1 日	■ 広報誌「おおり」創刊 (以後 3 ヶ月毎発行)

年 月			内 容
平成	13 年 (2001)	4 月 3 日	■ 労災保険二次健診等給付医療機関
	14 年 (2002)	1 月 11 日 3 月 1 日 11 月 22 日	■ 八王子市子安町 3-18-1 より八王子市万町 177-3 に移転 ■ 電子カルテ・院内画像ネットワーク稼動 ■ 療養環境加算施設基準 ■ 麻酔管理料施設基準 ■ 第 1 回ロビーコンサート開催
	15 年 (2003)	1 月 1 日 5 月 17 日 6 月 1 日 11 月 26 日	■ 日本外科学会外科専門医制度関連施設 ■ 開院 20 周年式典 ■ 生活習慣病外来開設 (リウマチ・痛風・膠原病) ■ 八王子消化器病院友の会発足
	16 年 (2004)	4 月 1 日 9 月 27 日	■ 外来化学療法加算施設基準 ■ 公益財団法人 日本医療機能評価機構 病院機能評価 認定 (認定 第 JC317 号)
	18 年 (2006)	4 月 1 日	■ 入院時食事療養 I 施設基準 ■ 医療安全対策加算施設基準 ■ 診療録管理体制加算施設基準 ■ 単純 CT 撮影の施設基準 ■ 医科点数表第 2 表第 10 部手術の通則の 5 及び 6 に掲げる手術施設基準 ■ 輸血管理料 II 施設基準
	19 年 (2007)	11 月 1 日	■ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
	20 年 (2008)	4 月 1 日 12 月 16 日	■ 検体検査管理加算 I 施設基準 ■ 羽生 富士夫 名誉理事長就任 ■ 鈴木 衛 理事長就任
	21 年 (2009)	9 月 27 日	■ 公益財団法人 日本医療機能評価機構 病院機能評価 更新認定 ver6.0 (認定 第 JC317-2 号)
	22 年 (2010)	4 月 1 日	■ がん性疼痛緩和指導管理料施設基準 ■ 医療機器安全管理料 1 施設基準
	23 年 (2011)	4 月 1 日 7 月 1 日	■ 原田 信比古 病院長就任 ■ 日本胆道学会指導施設
	24 年 (2012)	1 月 1 日 4 月 1 日 10 月 1 日	■ 日本消化器病学会認定施設 ■ 感染防止対策加算 2 施設基準 ■ 患者サポート体制充実加算施設基準 ■ 輸血適正使用加算施設基準 ■ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算施設基準 ■ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術施設基準
	25 年 (2013)	5 月 12 日	■ 開院 30 周年式典

03 病院年譜

年 月			内 容
平成	26 年 (2014)	4 月 1 日 9 月 27 日	■ 化学療法外来開設 ■ 公益財団法人 日本医療機能評価機構 病院機能評価 更新認定 3rdG : Ver.1.0 (認定 第 JC317-3 号)
	27 年 (2015)	1 月 1 日 2 月 1 日 3 月 31 日 6 月 1 日 8 月 1 日 11 月 1 日	■ 難病医療費助成指定医療機関 ■ 日本大腸肛門病学会関連施設 ■ 医師事務作業補助体制加算 1 施設基準 ■ 一般社団法人 National Clinical Database 施設 (認定 第. 000256427880 号) ■ データ提出加算 1 施設基準 ■ 病棟薬剤業務実施加算施設基準 ■ 日本消化管学会胃腸科指導施設
	29 年 (2017)	4 月 1 日 5 月 1 日	■ 原田 信比古 理事長就任 ■ 小池 伸定 病院長就任 ■ 脾臓病センター設立 (センター長：今泉 俊秀)
	30 年 (2018)	8 月 16 日 9 月 1 日 10 月 27 日	■ 内視鏡内科、内視鏡外科標榜 ■ 八王子市胃がん内視鏡検診受託 ■ 入退院支援加算 2 施設基準 ■ 病院主催健康講座開催
	31 年 (2019)	1 月 1 日 3 月 9 日	■ 日本脾臓学会認定指導施設 ■ 日本消化器内視鏡学会 JEDProject 参加施設
	令和 元年 (2019)	8 月 1 日 12 月 6 日	■ 日本カプセル内視鏡学会指導施設 ■ 公益財団法人 日本医療機能評価機構 病院機能評価 更新認定 3rdG : Ver.2.0 (認定 第 JC317-4 号)
令和	2 年 (2020)	1 月 1 日 8 月 1 日 9 月 1 日	■ がん患者指導管理料施設基準 ■ 急性期看護補助体制加算施設基準 ■ 急性期一般入院料 4 施設基準
	3 年 (2021)	4 月 1 日 6 月 1 日 7 月 1 日	■ 八王子市予防接種業務受託 (インフルエンザ、肺炎球菌) ■ 看護職員夜間配置加算施設基準 ■ せん妄ハイリスク患者ケア加算施設基準
	4 年 (2022)	6 月 1 日 3 月 21 日	■ 外来腫瘍化学療法診療料 1 施設基準 ■ ホスピタルアート『癒しの壁画』プロジェクト 協力：学校法人桑沢学園 東京造形大学
	5 年 (2023)	7 月 10 日 8 月 1 日	■ CT 診断装置増設 (2 台体制) ■ 八王子市予防接種業務受託 (带状疱疹)
	6 年 (2024)	1 月 1 日 4 月 1 日 9 月 1 日 10 月 1 日	■ 看護補助体制充実加算施設基準 ■ 東京都医療措置協定締結 ■ 外来・在宅ベースアップ評価料施設基準 ■ 入院ベースアップ評価料施設基準 ■ ストーマ合併症加算施設基準

2024 年度のできごと

4月	・4月1日 新入職員オリエンテーション ・4月11日 新入職員歓迎会 ・4月15日 八王子消化器病院ニュース『おおるり』第82号 発行
5月	・5月23日 防災訓練
7月	・7月1日 新入職員オリエンテーション 3ヶ月フォローアップ研修 ・7月15日 八王子消化器病院ニュース『おおるり』第83号 発行 ・7月28日 万町二丁目町会神輿渡御 参加
10月	・10月1日 新入職員オリエンテーション 6ヶ月フォローアップ研修 ・10月15日 八王子消化器病院ニュース『おおるり』第84号 発行
11月	・11月17日 京王駅伝フェスティバル 2024 参加 ・11月28日 防災訓練 
12月	・12月7日 病院忘年会 ・12月19日 クリスマスキャロル 
1月	・1月15日 八王子消化器病院ニュース『おおるり』第85号 発行 ・1月21日 入職2年目職員フォローアップ研修
2月	・2月9日 第75回全関東八王子夢街道駅伝競走大会 参加 
3月	・3月4日 新入職員オリエンテーション 12ヶ月フォローアップ研修

04 病院概要

病院概要

法人名称 医療法人財団 中山会

病院名称 八王子消化器病院

開設年月日 昭和 58 年（1983 年）5 月 17 日

診療科目 消化器内科 / 消化器外科 / 内視鏡内科 / 内視鏡外科
糖尿病内科（糖尿病外来） / リウマチ科（生活習慣病外来）
化学療法外来 / 麻酔科 / がん検診 / 人間ドック

許可病床 98 床

所在地 〒192-0903 東京都八王子市万町 177 番地の 3

電話番号 042-626-5111

URL <http://www.hachiojisyokaki.com>



学会施設認定等

- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本胆道学会指導施設
- 日本脾臓学会認定指導施設
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 日本大腸肛門病学会関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本カプセル内視鏡学会指導施設
- 一般社団法人 National Clinical Database 施設
(認定 第. 000256427880 号)
- 日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設



04 病院概要

施設基準

■ 初診料に関するもの	● 医療 DX 推進体制整備加算
■ 入院基本料に関するもの	● 急性期一般入院料 4 ● 診療録管理体制加算 2 ● 医師事務作業補助体制加算 1 ● 療養環境加算 ● 医療安全対策加算 2 ● 感染対策向上加算 3 ● 病棟薬剤業務実施加算 ● データ提出加算 1 ● 入退院支援加算 2 ● 急性期看護補助体制加算 ● 看護補助体制充実加算 ● 看護職員夜間配置加算 ● せん妄ハイリスク患者ケア加算
■ 給食に関するもの	● 入院時食事療養（Ⅰ）
■ がん医療に関するもの	● がん性疼痛緩和指導管理料 ● がん患者指導管理料（イ）（ロ） ● 外来腫瘍化学療法診療料 1
■ 薬剤に関するもの	● 薬剤管理指導料 ● 外来化学療法加算 1 ● 無菌製剤処理料
■ 医療機器に関するもの	● 医療機器安全管理料 1
■ 検体検査に関するもの	● 検体検査管理加算（Ⅰ）
■ 輸血に関するもの	● 輸血管理料Ⅱ ● 輸血適正使用加算
■ 麻酔管理に関するもの	● 麻酔管理料Ⅰ
■ 手術に関するもの	● 手術の施設基準 - 区分 2 に分類される手術 - 肝切除術、腓体尾部腫瘍切除術、腓頭部腫瘍切除術 - 胆管悪性腫瘍手術 等 - 区分 3 に分類される手術 - 食道悪性腫瘍手術 - 区分 4 に分類される手術 - 腹腔鏡下手術（胃切除術、胆嚢摘出術、結腸悪性腫瘍切除術 - 直腸切除・切断術 等） ● 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 ● 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
■ 処置に関するもの	● ストーマ合併症加算
■ その他に関するもの	● 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ） ● 入院ベースアップ評価料

主な対象疾患

■ 食道

食道癌
食道粘膜下腫瘍
食道裂孔ヘルニア
逆流性食道炎
食道静脈瘤

■ 胃

胃腫瘍 / 癌
胃粘膜下腫瘍 (GIST)
胃潰瘍
慢性胃炎
H.pylori 感染胃炎

■ 十二指腸

十二指腸腫瘍 / 癌
十二指腸潰瘍

■ 大腸

結腸癌
直腸癌
潰瘍性大腸炎
クローン病
結腸憩室炎
大腸ポリープ

■ 肝臓

肝細胞癌
肝内胆管癌
転移性肝癌
肝内結石症
肝炎
脂肪肝
肝硬変

■ 胆道

胆嚢癌
胆管癌
乳頭部癌
胆石・総胆管結石
先天性胆管拡張症
脾・胆管合流異常
胆嚢炎
胆管炎
閉塞性黄疸

■ 膵臓

膵癌
膵管内乳頭粘液性腫瘍
膵神経内分泌腫瘍
粘液性嚢胞腫瘍
急性膵炎
慢性膵炎
膵石症
自己免疫性膵炎

■ その他

後腹膜腫瘍
鼠径ヘルニア
腹壁ヘルニア
虫垂炎
腸閉塞
小腸疾患

05 組織図

医療法人財団 中山会 組織図

※2024年3月31日現在

医療法人財団 中山会

理事長
原田 信比古

理事
小池 伸定
(常務理事)
徳重 克年
齋田 真
大津 行博

監事
湯澤 勝信

病院長
小池 伸定

副院長
齋田 真

八王子消化器病院

診療部 医局長
森下 慶一

看護部 看護部長
岡田 正文

診療技術部 責任担当医師
小池 伸定
齋田 真
森下 慶一
尾崎 雄飛

管理部(事務) 事務長
大津 行博

消化器内科 小池 伸定
齋田 真
消化器外科 森下 慶一
麻酔科 尾崎 雄飛
健(検)診・人間ドック 尾崎 雄飛

外来
外来看護 田中 久美子
在宅支援
3階病棟 鈴木 瑞枝
4階病棟
手術室・中央材料室 城 信嗣

放射線科 秋野 哲男
内視鏡センター 山田 英生
臨床検査科 富永 晋
生理学・超音波検査科
ME科 高崎 直哉
薬剤科
栄養科 草山 恵
診療情報管理室 海藤 隆

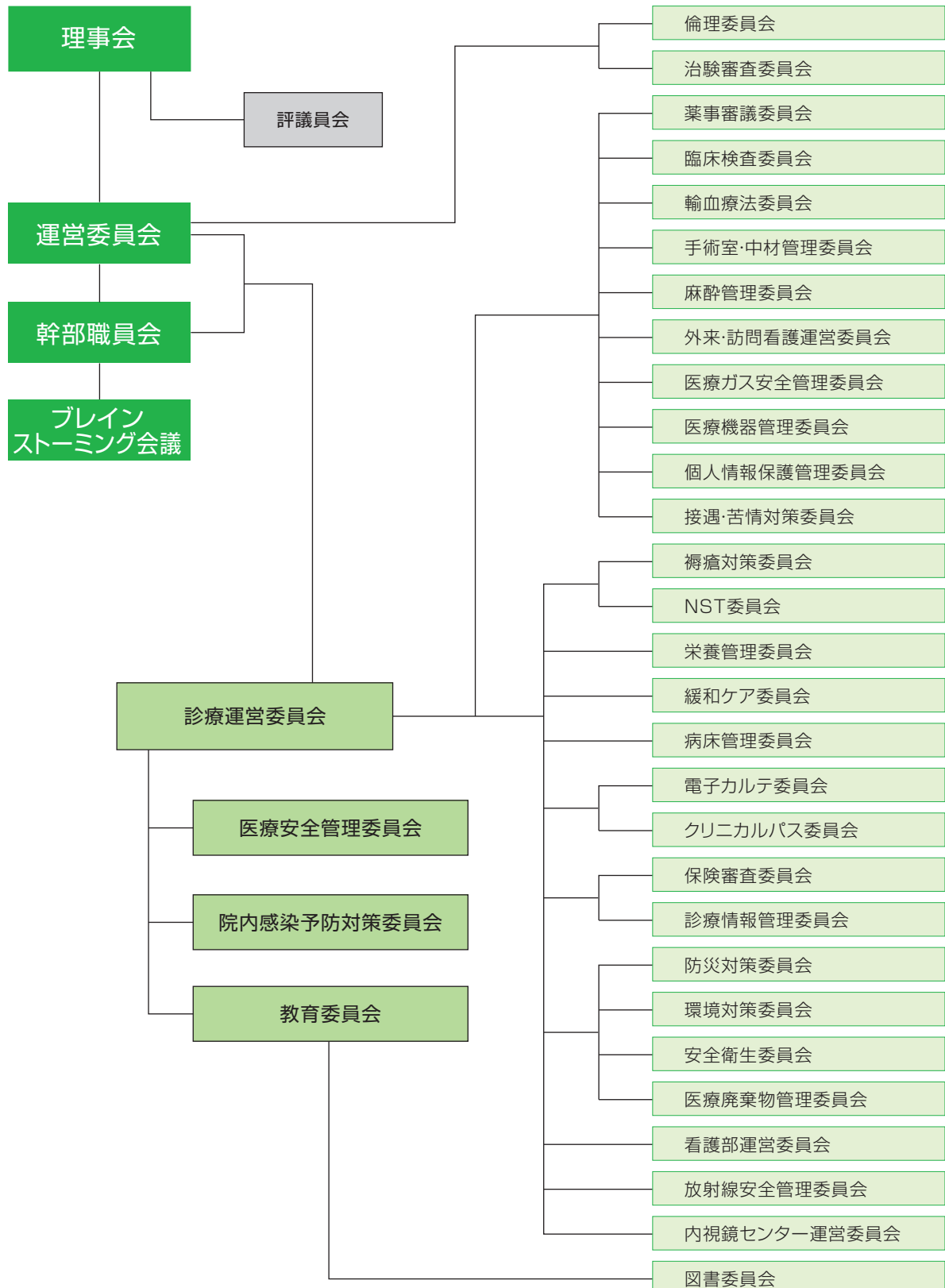
総務課 大津 行博
経理課 川合 いづみ
用度課 草山 潤
施設課 (倉田 博行)
医事課 海藤 隆
クラーク課
病診連携室・医療相談室 大津 行博
苦情対策室 海藤 隆

医療安全管理部
医療安全管理委員会 齋田 真
医療安全管理室 小川 麻美

院内感染予防対策部
院内感染予防対策委員会 小池 伸定
院内感染対策室 尾崎 雄飛/加藤 香織

委員会・会議組織図

※2024年3月31日現在



学会発表

演題名／部署／氏名	発表日	学会名／発表セッション
無線LAN通信を活用した輸液ポンプ稼働率算出の取り組み ME科 高崎 直哉	2024年5月19日	日本臨床工学技士会 一般演題
当院における下部内視鏡検査時腸管前処置の検討 内視鏡センター 菅谷 尚正	2024年6月1日	日本消化器内視鏡技師学会 一般演題
内視鏡室コスト削減の取り組み 内視鏡センター 赤井 雄登	2024年6月1日	日本消化器内視鏡技師学会 一般演題
臍頭部領域に発生し閉塞性黄疸を来した節性濾胞性リンパ腫の1例 医局 植村 修一郎	2024年7月26日	日本臍臓学会 一般演題
5ASA不耐に顆粒球吸着療法が著効した一例 診断に苦慮した肝障害の一例 医局 森下 慶一	2024年9月7日	日本消化器病学会 一般演題
当院におけるBTSの検討 医局 森下 慶一	2024年11月1日	JDDW2024 日本消化器関連学会 一般演題
当院でのIBD診療について 医局 森下 慶一	2024年11月11日	八王子IBD病診連携研究会 一般演題
当院における白血球系細胞除去療法の使用検討 医局 佐々木 優	2024年11月16日	日本炎症性腸疾患学会 一般演題
当院におけるPDCAサイクルを用いた改善策の評価方法について ME科 高崎 直哉	2024年11月29日	医療の質安全学会学術集会 一般演題(ポスター)
食道静脈瘤治療の一例 ◇アバトロンボパグの使用経験◇ 医局 森下 慶一	2025年2月28日	会津GIカンファレンス 一般演題

講演会

講演会名／部署／氏名	開催日	会場（主催）
当院の輸液ポンプセキュリティ確保の 取り組みについて ME科 高崎 直哉	2025年1月21日	株式会社ジェイ・エム・エス 東京営業所 会議室 （株式会社ジェイ・エム・エス）
南多摩保健医療圏 地域保健医療福祉フォーラム 当院における市大腸がん検診便潜血検査結果に ついての報告 ～陽性率、陽性者の疾患、悪性の場合の進行度等～ 臨床検査科 京田 大樹	2025年1月22日	八王子市生涯学習センター 5階ホール （八王子市保健所、町田市保健所、 東京都南多摩保健所）

06 教育・広報活動

院内研修

■ 全体会

研修名／主催者	開催日	対象者
人工呼吸器講習会 看護部運営委員会	2024年5月1日～ 2024年5月31日	看護師
法律の概要と当院の取り組み 個人情報保護管理委員会	2024年6月6日～ 2024年6月30日	全職員
医の倫理 個人情報保護管理委員会	2024年6月6日～ 2024年6月30日	全職員
急変時の看護 看護部運営委員会	2024年7月1日～ 2024年7月31日	看護師
がん疼痛の基礎知識 緩和ケア委員会	2024年7月1日～ 2024年7月31日	看護師
痛みとは？ 緩和ケア委員会	2024年7月1日～ 2024年8月17日	全職員
ストーマの基礎知識 看護部運営委員会	2024年8月1日～ 2024年8月31日	看護師
麻薬の取り扱いと基本 看護部運営委員会	2024年9月1日～ 2024年9月30日	看護師
夢のコラボ企画 一緒に考えよう感染対策のKYT 医療安全管理委員会・院内感染予防対策委員会	2024年9月1日～ 2024年10月5日	全職員
身体的拘束について(医師・看護師・薬剤師編) 看護部運営委員会	2024年9月16日～ 2024年10月31日	医師・看護師・薬剤師
身体的拘束について(看護部編) 看護部運営委員会	2024年9月16日～ 2024年10月31日	看護師
車椅子の正しい使い方 教育委員会	2024年11月1日～ 2024年11月30日	全職員
診療用放射線の安全利用の研修 放射線安全管理委員会	2024年11月11日～ 2024年12月18日	医師・診療放射線技師・放射線業務 従事看護師・内視鏡検査技師
各チーム(アセスメント・PDCA)の活動報告 医療事故調査制度 医療安全管理委員会	2025年3月1日～ 2025年3月31日	全職員
手術部位感染予防について 院内感染予防対策委員会	2025年3月1日～ 2025年3月31日	全職員

■ 教育委員会

研修名／主催者	開催日	対象者
新入職員オリエンテーション 教育委員会	2024年4月1日	新入職員
新入職員オリエンテーション 3ヶ月フォローアップ研修 教育委員会	2024年7月1日	新入職員
新入職員オリエンテーション 6ヶ月フォローアップ研修 教育委員会	2024年10月1日	新入職員
入職2年目職員フォローアップ研修 教育委員会	2025年1月21日	入職2年目職員
新入職員オリエンテーション 12ヶ月フォローアップ研修 教育委員会	2025年3月4日	新入職員

院内研修

■ ME科

研修名／主催者	開催日	対象者
医療機器研修 シリンジポンプ(TOP-S500) ME科	2024年10月28日～ 2024年11月6日	看護師

■ 生理学・超音波検査科

研修名／主催者	開催日	対象者
これって肝転移 生理学・超音波検査科	2024年7月	科内職員
右側腹部痛について 生理学・超音波検査科	2024年7月	科内職員
エコーで見えて、CTで見えないもの 生理学・超音波検査科	2024年11月	科内職員
肝腫瘍？ 生理学・超音波検査科	2024年11月	科内職員

■ 看護部

研修名／主催者	開催日	対象者
ピロイ点滴静注について 化学療法チーム	2024年6月13日	医師・看護師・薬剤師
化学療法の基本 看護部教育委員会・化学療法認定看護師	2024年6月18日	2年目・既卒新人看護師
ダンサックのパウチの特徴について 褥瘡対策WOCチーム	2024年6月28日	看護師
高齢者・認知症のある患者の対応 看護部教育委員会	2024年10月	病棟看護助手
点滴・ドレーンがある患者の更衣演習 看護部教育委員会	2025年2月17日	病棟看護助手



07 事業報告・計画

2024 年度 病院事業報告

【新】：新規事業
【継】：継続事業

「患者様のための医療」の理念のもとに
私たちが取り組んだこと

病院運営全般

- 年間収益・費用目標の設定・定期モニタリング【継】
- 医師・薬剤師業務に関わるタスク・シフト/シェアの推進【継】
- ジョブローテーション制度による人材育成・有効活用【継】
- 診療報酬上の加算の新規届出
(外来・在宅ベースアップ評価料、入院ベースアップ評価料、
認知症ケア加算等)【新】

報告

達成項目

- 診療報酬上の加算の新規届出
(外来・在宅ベースアップ評価料、入院ベースアップ評価料、
認知症ケア加算等)

未達成項目

- 年間収益・費用目標の設定・定期モニタリング
- ジョブローテーション制度による人材育成・有効活用

進展中項目

- 医師・薬剤師業務に関わるタスク・シフト/シェアの推進

診療

- 糖尿病教育入院の実施【継】
- 緩和ケア入院の促進【新】
- 鼠径ヘルニア手術体制の整備・拡充【継】
- 各検査予約方法・枠設定の見直し【継】
- 診察等予約システムの変更
(予約専用窓口の設置、検査説明用動画の導入)【新】
- 企業人間ドック・ワクチン接種受入れの拡充【新】
- 入院患者療養環境の質向上【継】

報告

達成項目

- 診察等予約システムの変更(検査説明用動画の導入)

未達成項目

- 糖尿病教育入院の実施
- 診察等予約システムの変更(予約専用窓口の設置)
- 企業人間ドック・ワクチン接種受入れの拡充
- 入院患者療養環境の質向上

進展中項目

- 緩和ケア入院の促進
- 鼠径ヘルニア手術体制の整備・拡充
- 各検査予約方法・枠設定の見直し

病診連携・広報

- 病院広報体制の強化(Webサイトの改訂)【継】

報告

達成項目

- なし

未達成項目

- なし

進展中項目

- 病院広報体制の強化(Webサイトの改訂)

その他

- 事業継続計画(BCP)の策定【新】
- 接遇教育(オンライン、eラーニング等の活用)の再開【継】
- 組織運営・チーム作り等に関する職員講演会の開催【新】
- 職員対象の人間ドックの導入【継】
- 理事室(第2会議室)の有効活用(改修)【新】

報告

達成項目

- 事業継続計画(BCP)の策定

未達成項目

- 接遇教育(オンライン、eラーニング等の活用)の再開
- 組織運営・チーム作り等に関する職員講演会の開催
- 職員対象の人間ドックの導入
- 理事室(第2会議室)の有効活用(改修)

進展中項目

- なし

検討項目

- ロボット支援下手術の導入【継】
- サテライト診療所の開設【新】
- 週休2日制の導入【継】

報告

実施項目

- なし

未実施項目

- ロボット支援下手術の導入
- サテライト診療所の開設

進展中項目

- 週休2日制の導入

2025 年度 病院事業計画

【新】：新規事業

【継】：継続事業

実施項目

01

病院運営全般

- 年間収益・費用目標の設定・定期モニタリング【継】
- 医師・薬剤師業務に関わるタスク・シフト/シェアの推進【継】
- ジョブローテーション制度による人材育成・有効活用【継】
- 人員体制の整備・次期幹部職員の育成【新】
- 電子カルテシステムの更新(システム選定)【新】

02

診療

- 緩和ケア入院の促進【継】
- クリニカルパス(鼠径ヘルニア)の導入【新】
- 診察等予約システムの変更(予約専用窓口の設置)【継】
- 企業人間ドック・ワクチン接種受入れの拡充【継】
- 入院療養環境の整備【継】

03

病診連携・広報

- 病院Webサイトの改訂【継】

04

その他

- 接遇教育(オンライン、eラーニング等の活用)の再開【継】
- 組織運営・チーム作り等に関する職員講演会の開催【継】
- 職員対象の人間ドックの導入【継】
- 駐車場(患者・職員)運営の見直し【新】
- 職員休憩室の整備【新】
- 中山恒明・羽生富士夫コーナーの設立【継】
- 写真展示コーナーの設立(公募)【新】

検討項目

- 週休2日制の導入【継】
- 定年制度の見直し【新】

消化器内科

診療方針

- ・ 当院では、年間の内視鏡検査数が約 10,000 件（上部消化管・下部消化管）の豊富な実績と共に、診断の質においても高いレベルの維持・向上に努めています（当院は、八王子市の胃がん内視鏡検診受託施設です）。また、小腸カプセル内視鏡検査や超音波内視鏡検査（EUS）等の特殊検査も実施し、消化器疾患の診断に幅広く対応しています。なお、上部消化管内視鏡検査では経鼻内視鏡や苦痛の少ない意識下鎮静法も行っています。
- ・ 内視鏡的治療では、大腸ポリペクトミー、粘膜切除術（食道・胃・十二指腸 EMR）、粘膜下層剥離術（胃 ESD・大腸 ESD）を実施しており、消化器がんに対する早期発見・治療を推進しています。
- ・ 国の定める難病に指定されている潰瘍性大腸炎等の炎症性腸疾患に対しては、生物学的製剤等の薬物療法や臨床工学技士との協力による血球成分除去療法も積極的に実施しています。
- ・ 当院は、認定に高いレベルの診療体制が求められる日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設に指定されています。

内視鏡検査・内視鏡下治療 実績

2024 年度 各種検査数

上部消化管内視鏡検査	6,211
下部消化管内視鏡検査	3,628
カプセル内視鏡検査	14
EUS(超音波内視鏡検査)	143
大腸 CT 検査 (CT コロノグラフィー)	520

2024 年度 各種内視鏡的治療数

大腸ポリペクトミー	1,481	
EMR(食道・胃・十二指腸粘膜切除術)	20	
ESD(内視鏡の粘膜下層剥離術)	食道	6
	胃	53
	大腸	34
ERCP(内視鏡の逆行性胆管膵管造影)	132	
EST (内視鏡の乳頭切開術)	37	

特徴・特色

- ・ 腹痛、食欲低下、下痢、血便、黒色便等、多岐にわたる消化器症状に対し診療をしています。近隣の病院、診療所からの紹介も病診連携室を介して外来診療、入院加療に迅速に対応しています。また、消化器疾患に関する専門検査に即応する体制を整えており、緊急内視鏡検査等も必要に応じて実施しています。
- ・ 大腸ポリペクトミーおよび粘膜切除術、食道・胃・十二指腸粘膜切除術（EMR）、食道・胃・大腸粘膜下層剥離術（ESD）の治療を行い、特に ESD は年間 93 例（2024 年度）と確実に実績を積み上げています。
- ・ 指定難病である潰瘍性大腸炎の治療は初期導入から維持、寛解治癒まで対応しており、その一つである血球成分除去療法は、年間 123 例（2024 年度）と多摩地域でも有数の件数を誇っています。
- ・ 膵、胆道疾患の精査である内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）、超音波内視鏡検査（EUS）、超音波内視鏡下穿刺術（EUS-FNA）も実施していることが当院の強みです。
- ・ 消化器疾患の精密診断を行うと共に、それに引き続き内視鏡的治療を積極的に行い、疾病の早期発見・治療に努めています。

消化器外科

診療方針

- ・医局員全員（消化器内科・消化器外科）のみならず看護師、診療放射線技師等のコ・メディカルが参加する合同カンファレンスにおいて、全ての手術症例の治療方針を決定し、エビデンスに基づいた質の高い医療を提供しています。また、患者の皆様・ご家族の方には、病状や手術について主治医から説明し、十分に納得をしていただけるようインフォームド・コンセントに努めています。
- ・手術症例のうち約3割は、悪性疾患に対する手術であり高度の技能を要する食道がん、膵臓がん、胆道がん、肝臓がんの外科的治療にも対応しています。
- ・患者の皆様の”生活の質（Quality Of Life:QOL）”に配慮し、根治性のみならず臓器機能の温存に加え、手術侵襲や創痛の軽減にも努めています。これまでの豊富な治療経験と最新の技術を駆使し、患者の一人ひとりにとって最善の治療を提供すべく日々臨床の場に臨んでいます。
- ・当院は、認定に高いレベルの診療体制が求められる日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本消化器外科学会専門医修練施設にも指定されています。

手術 実績

2024 年度手術数 574 例

	高難度手術	中難度手術	低難度手術
食 道	1	-	-
胃・十二指腸	11	17	11
小 腸・結 腸	-	81	67
直 腸・肛 門	19	22	-
肝 臓	4	-	6
胆 道	1	4	130
膵 臓	14	1	-
そ の 他	-	13	172
合 計	50	138	386

特徴・特色

- ・消化器外科では、消化器内科の検査・診断の後、症例検討を経て外科治療となります。消化器内科の内視鏡治療の進歩に伴い、外科治療の適応も変化してきました。また、内科での治療後手術が必要となるケースもあります。
- ・外科治療では、腹腔鏡下の手術が増加しています。小さな傷口で手術を行うため、術後の痛みが少なく早期の回復が見込まれ、また美容面においても優れています。同手術では、胃がん、大腸がん、胆石症、鼠径ヘルニアの症例が増加しています。
- ・昨今では、全国的に消化器外科医の人員不足の状況にあります。当院では、近隣医療機関での腹痛検査後に、急性虫垂炎、急性胆嚢炎、腸閉塞等の腹部救急疾患の紹介を積極的に受け入れ、外科治療にも迅速に対応しています。また、消化器外科指導医、専門医および麻酔科専門医を擁し、緊急手術も安全に実施できる体制を整えています。

生活習慣病（膠原病・リウマチ・痛風）外来

診療方針

- ・当科では、大別して2種の疾患群を診察しています。高脂血症、高尿酸血症（痛風）等の生活習慣病と関節リウマチ等、膠原病の自己免疫性疾患です。
- ・昨今、専門分野である関節リウマチや全身性強皮症等の膠原病疾患について、ご相談を受けるケースが増えています。
- ・関節リウマチは、関節の内面を覆っている滑膜に炎症性サイトカイン（炎症反応を促進する働きタンパク質）が産生され、炎症をきたすことで発症する自己免疫性疾患で、女性に多い病気です。
- ・現在では、治療の進歩により“Care”から“Cure”できる疾患となりました。それに伴い、高齢の関節リウマチの方も増えていますが、高齢者は、他に治療中の疾患があったり、腎機能・肝機能の低下を認めることが多く、治療には細心の注意が必要となります。また、関節リウマチは、急速に進行するため早期診断・治療が肝要となります。そのため、主な症状である関節のこわばり等を感じましたら受診をお勧めします。

特徴・特色

- ・幅広い診療
身近な疾患である生活習慣病（高脂血症、高血圧症、高尿酸血症（痛風）等）から関節リウマチ等の膠原病疾患まで幅広く診療をしています。また、消化器疾患については常勤の専門医（内科・外科）と連携して対応しています。
- ・高い専門性
関節リウマチや、その他の膠原病（全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発筋炎等）の自己免疫性疾患について、経験豊富な専門医（日本リウマチ学会認定専門医）が大学病院と同レベルの診療を心がけています。

糖尿病外来

診療方針

- ・糖尿病治療薬には、注射剤・経口薬それぞれで複数系統の薬剤があり、更に各系統は数種類から数十種類の薬剤からなるため、専門医でも処方に迷うことがあります。また、糖尿病の薬物治療の難しいところは、一つの薬では改善幅が小さい、それぞれに特有な副作用がある、病状等に応じて処方の調節が必要である等です。糖尿病治療薬は、むやみに処方を積み重ねても血糖コントロールが改善しないため、病態にあった薬剤の選択が大切です。
- ・糖尿病は、それ自体を治癒することはできません。しかし、早期に発見し、治療を行ないコントロールすれば合併症を抑えることができます。なお、糖尿病の「三大合併症」として糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害が挙げられます。糖尿病の治療には、食事療法と運動療法がありますが、合併症には薬剤による強化が重要です。当院では、管理栄養士による栄養指導やインスリンの導入等、総合的に治療を行っています。早期に糖尿病を診断し、状況を把握して良好な血糖コントロールで合併症のない人生を送りましょう。

特徴・特色

- ・高い専門性
経験豊富な専門医（日本糖尿病学会認定専門医）による診療体制の下、服薬やインスリンの導入等による血糖コントロールおよび管理栄養士による栄養指導等の包括的な糖尿病治療を行っています。
- ・消化器内科・外科との連携体制
糖尿病と消化器には、深い関連があります。特に肝臓や膵臓は、血糖値を正常に保つための重要な働きをします。一方、糖尿病は“がん”のリスク因子でもあります。当院では、糖尿病専門医と消化器科の専門医が、それぞれの専門性を活かし連携して診療に当たっています。

化学療法外来

診療方針

- ・ 当科では、消化器がんに対する化学療法（抗がん剤）および、それに伴う日常生活上の指導等を担当しています。
- ・ 「化学療法を開始すると、もう通常の生活はできなくなり仕事も辞めて、辛い副作用と闘う毎日を過ごす」と思われている方がいらっしゃいますが、そのようなことは全くありません。もちろん多少の副作用は発生するため治療継続可能な範囲内で、その副作用とは付き合っていく必要はありますが、辛い毎日が続くような化学療法では延命効果が無く、無意味です。明らかに悪影響のある習慣（喫煙や深酒等）以外には、化学療法中の生活に制約はありません。むしろ、どのような生活を続けたいかという希望に沿って治療の強度を調節することが生活の質を落とさずに長く治療を継続できるコツでもあります。
- ・ 化学療法では治療を受ける方の病状や、がん自体の性質はもとより、ご本人の希望やライフスタイルにも留意して治療内容を選択しています。

特徴・特色

- ・ 安全管理の徹底
化学療法の治療スケジュール（レジメン）は全て登録制となっており、審査委員会での承認を得て使用しています。また、登録されたレジメンは電子カルテシステムでオーダーされ、抗がん剤の投与スケジュールの過誤や過量投与を防止しています。更に、実際の投与前には看護師と薬剤師が処方内容を二重でチェックし、入念な確認のうえで実施しています。
- ・ 高い専門性
化学療法の専門家である日本臨床腫瘍学会認定の「がん薬物療法専門医」や日本看護協会認定「がん化学療法看護認定看護師」をはじめ、がん薬物療法に関して豊富な経験を持つスタッフが多数おり、患者個々に応じた適切な治療薬の選定、安全な取り扱いと適切な投与管理、副作用症状の緩和およびセルフケア支援を行っています。
- ・ 充実した支援体制
化学療法を受けられる方の不安の軽減や日常生活上の指導等のため、がん化学療法看護認定看護師によるがん看護相談窓口を設け、専門的知識を基にしたアドバイスや、お気持ちを傾聴したりしています。また、治療に携わっている多職種のスタッフがチームとなって各々の専門性を前提とし、意見交換をしながら最善の治療・ケアの提供に努めています。

看護部

外来

特徴・特色

近年、在院日数の短縮化に伴い、外来で行われる治療や処置が増加し、当院でも治療方針の説明や意思決定等、多くのことが外来で日常的に行われています。外来看護師は患者からの症状相談の電話対応も行いながら、これらの業務に日々対応しています。そのため専門的な知識が求められます。多くの患者と関わり、様々な経験を積み知識向上に努めています。

2024 年度 活動報告

- ・大腸検査説明動画の導入
- ・急変時の看護に関する勉強会の開催
- ・教育に関するリーダー会の定期的な開催
- ・検査に関するマニュアルの定期的な改訂
- ・手術室看護師との協働による術前外来の導入に向けた準備

病棟

特徴・特色

当院に入院される患者の治療目的は、検査・手術・化学療法・G-CAP 療法・緩和ケア・インスリン教育と様々です。

患者の背景も、独居・高齢化・家族関係など様々で、退院支援に難渋するケースが増えてきているのが現状です。

緩和ケアでは病棟スタッフ全員が ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を学び、緩和ケア委員会を中心に終末期医療の充実を図っています。

近年は消化器単科の病院としての専門性を学ぶために就労を希望するスタッフも増えました。専門職としての自覚を持ち、心理的安全性を前提とした職場環境作りや業務の効率化、チームの一員としての相互支援体制の構築に努めています。また、世代交代を視野に入れ、主体性を持った自己の成長に挑戦しています。

2024 年度 活動報告

- ・業務時間内での効果的な会議の開催
- ・多様性を理解した病棟環境の整備
- ・時間外勤務の削減（ゼロへの挑戦）
- ・看護補助体制充実加算取得による助手業務の拡充と定着
- ・物品管理（定数見直し／配置改善）

看護部

手術室

特徴・特色

当院では 2014 年以降現在に至るまで、低侵襲である腹腔鏡下手術を積極的に行ってきました。2024 年度の総手術件数の約 76%が腹腔鏡下手術となっています。

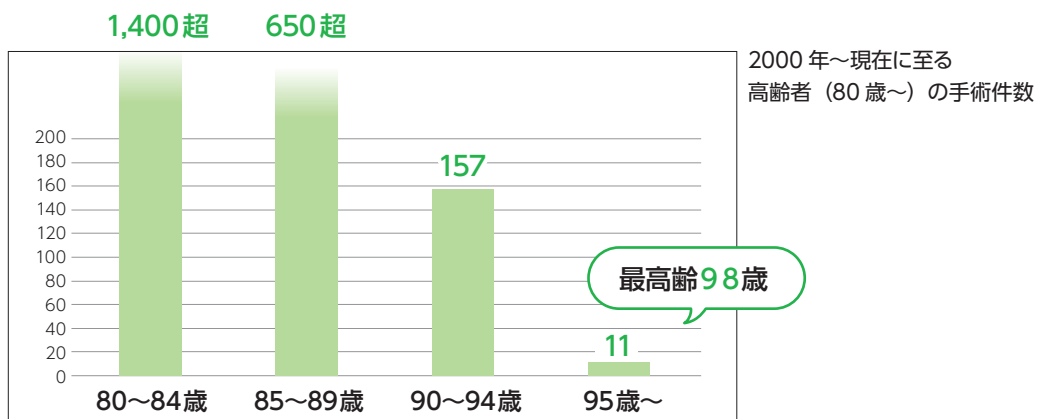
2025 年度には、内視鏡外科学会技術認定医が 1 名増員され総勢 3 名となり、腹腔鏡下手術をより安全に施行出来る体制が整いました。また昨今、高齢化が進み併存疾患・既往歴のある患者が増えている背景もあり、2025 年度より術前麻酔科外来が開設され、麻酔科専門医による術前評価をすることで手術と麻酔がより安全に行えるようになりました。その結果、術前・術中・術後の周術期における患者 QOL を高めることができるようになっていきます。

※参考：過去 25 年間の高齢患者の手術統計（下図詳細）

2024 年度 活動報告

- ・ 術前外来を担う看護師の育成
- ・ 術前休薬忘れ防止のための標準ルール作成
- ・ リユースリネンの拡充による廃棄物量の削減

過去 25 年間の高齢患者の手術統計



当院は消化器疾患専門病院として 2000 年から 14,000 件以上の手術を行っています。上記のグラフは中でも 80 歳以上の患者に対する手術件数を表したものです。

最高齢 98 歳の患者は鼠径ヘルニアの手術で、97 歳 2 名は胆嚢の手術（胆管切開切石術）と直腸悪性腫瘍の手術（低位前方切除術）を行いました。

当院では高齢の方でも良性疾患はもとより、難易度の高い悪性疾患手術も安全に行っています。既往歴（心疾患・脳疾患・内分泌疾患・呼吸器疾患等）のある患者には、それぞれ専門施設との連携を密に取り対応しています。

09 部署紹介

放射線科

特徴・特色

放射線科では、CT 装置 2 台、透視装置 1 台、一般撮影装置 1 台、ポータブル撮影装置 2 台を設置し、消化器疾患の検査・処置を行っています。

CTC（大腸 CT）検査は、日本消化器がん検診学会認定の大腸 CT 検査技師による安全で精度の高い検査を行っています。（実績：500 件以上 / 年）

胃透視・注腸検査は時代の流れで検査数は減少していますが、技師の世代交代はあれどその技術力と精度は 30 年以上維持しています。

2024 年度 活動報告

- ・ CTC リーフレットの作成および院内への配置
- ・ CT 装置増設による、患者の待ち時間短縮および緊急検査の迅速対応
- ・ 放射線安全管理委員会の定期開催による業務の安全強化および効率化



内視鏡センター

特徴・特色

当院の内視鏡センターでは機器の進化、技術の向上に対応しつつ内視鏡的治療を積極的に取り入れています。特に、病変が2cm以上のがんを開腹手術ではなく内視鏡で切除する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の件数が年々増加しています。

また、八王子市の胃がん内視鏡検診により疾病の早期発見・早期治療に繋がる患者が増加することで、今後もより一層の治療効果が期待されます。安全で苦痛の少ない検査を提供し患者の不安を少しでも和らげる努力を続けていきます。

2024 年度 活動報告

- ・ 下部消化管内視鏡検査の患者向け検査説明マニュアルの改訂
- ・ 八王子市胃がん内視鏡検診 782 件



09 部署紹介

臨床検査科

特徴・特色

臨床検査科では、生化・血算・血糖・尿一般検査はもとより、HbA1c・血液型・血液凝固・血液交差試験・便潜血・血液ガス・腫瘍マーカーについても院内で実施しており、約 50 分以内に全ての結果がそろいます。院内で実施できない検査に関しては外部の検査センターと連携しています。

病理検査に関しては、休日を含め約 5 日で結果が報告されます。

2024 年度 活動報告

- ・次期電子カルテに対応した輸血システムの選定
- ・検査室の業務の円滑化
- ・FMS 契約をしている老朽化した機器（血液ガス分析装置）の更新



生理学・超音波検査科

特徴・特色

当科に勤務する臨床検査技師は全員、公益社団法人日本超音波医学会が認定する超音波検査士または、その取得を目指しています。腹部（上部・下部）に関しては高い技能を有する検査士が在職しており、消化器の専門病院でありながら、他の領域（乳腺・甲状腺・頸部・心臓・下肢静脈・皮下）の検査も実施可能です。近年は鼠径ヘルニアに対しての検査も増加しています。また、超音波検査結果については、検査から報告までを約 30 分で実施しています。

2024 年度 活動報告

- ・エコー検査における鼠径ヘルニア検査の標準化
- ・当院の採用抗生物質を使用するためのアンチバイオグラム報告の作成
- ・心エコー予約枠の増枠
- ・次期電子カルテと連携する検査系システムの選定
- ・既存エコー診断装置の活用と運用



09 部署紹介

ME 科

特徴・特色

ME 科は「医療機器を通じて安全・安心な消化器診療を支える」という考え方のもと、医師や看護師が医療機器を安心して使用出来るよう、現場での支援を行っています。

近年では重症潰瘍性大腸炎に対する CAP 療法や腹水貯留患者に対する CART にも即日対応出来る環境を整備し、専門的な治療を支える役割も担っています。

また、教育活動にも力を入れており、毎年、日本臨床工学技士会で学会発表を行い、技術と知識の向上に継続的に取り組んでいます。

2024 年度 活動報告

- ・CAP（血球成分除去）療法 17人 123 回施行
- ・CART（腹水濾過濃縮再静注法）10人 18 回施行
- ・第34回日本臨床工学技士会での演題発表「無線LAN通信を活用した輸液ポンプ稼働率算出の取り組み」
- ・株式会社学研 臨床工学ジャーナル【クリニカルエンジニアリング】8月号 CE 図鑑「診療放射線技師との W ライセンス」執筆

薬剤科

特徴・特色

薬剤科では、がん化学療法調製・注射調製および調剤・内服調剤・服薬管理指導業務・DI 業務・院内各委員会での活動等多岐にわたる業務を全ての薬剤師が行えるような体制を整えています。がん化学療法調製件数は年々増加傾向にあり、消化器がん領域の様々な化学療法に対応しています。予定入院・緊急入院に関わらず、持参薬の鑑別から代替薬の提案など多職種と連携しながら業務を行っています。今後も化学療法件数の増加への対応や服薬指導業務の充実を図り、安全・安心な薬物治療が行えるように薬剤科全員で協力して業務を行って参ります。

2024 年度 活動報告

- ・がん化学療法調製件数：1,889 件 / 年
- ・院内処方箋：6,838 枚 / 年
- ・TPN 調製：約 1,800 件 / 年
- ・服薬管理指導：約 3,000 件 / 年
- ・薬剤科カンファレンス：毎月開催

栄養科

特徴・特色

栄養科は、「患者様のための医療」という理念のもとに「食事は重要な治療の一環」と考え、美味しく楽しく食べていただくために努力しています。月に1回の行事食提供や一人ひとりの患者に寄り添った個別対応、厳選した食材の使用等、患者にとって食事が「楽しみ」や「刺激」となるよう、また消化器疾患の専門病院ならではの差別化を図れるよう取り組んでいます。

2024 年度 活動報告

- ・ 外来栄養指導：288 件
- ・ 入院栄養指導：1,556 件
- ・ NST 介入者数：42 人
- ・ 患者の状態に合わせた適切な食事提供と栄養管理
- ・ 食材費高騰対策（発注在庫調整・廃棄食材削減等）



10 委員会活動報告

医療安全管理委員会

統括責任者 小池 伸定

医局 病院長

活動概要

複雑化かつ多岐にわたる業務遂行に際し、如何にして患者の安全を確保していくかを医療機関全体の問題としてとらえ、適切な対策を講ずる。

また、必要な教育を実施して安全管理に対する知識と技術を身につけた人材の育成を行う。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- 医療安全管理部門会議 (1 回 / 週)
- 前期全体会の開催
実施期間：2024 年 9 月 1 日～2024 年 9 月 30 日
テーマ：医療安全管理・院内感染予防対策委員会合同企画
『～一緒に考えよう「感染対策のKYT(危険予知トレーニング)」～』
方法：院内eラーニング形式
対象者：全職員
- 期末報告会の開催
実施期間：2025 年 3 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
テーマ：①各チーム(アセスメント・PDCA)の活動報告
②医療事故調査制度
方法：院内eラーニング形式
対象者：全職員
- 教育活動
 - 医療安全基礎講座 2024 への参加
実施期間：2024 年 8 月 1 日～2024 年 10 月 15 日
テーマ：～スマートな医療安全活動の推進～
方法：Web聴講
参加者：医療安全管理室・看護部 小川 麻美
 - 第 19 回 医療の質・安全学会学術集会への参加
実施期間：2024 年 11 月 29 日～2024 年 11 月 30 日
テーマ：『学びを続ける』
参加者：医療安全管理室・看護部 城 信嗣・小川 麻美
医療安全管理室・管理部 大津 行博
医療安全管理室・ME科 高崎 直哉
 - 2024 年度 患者安全推進全体フォーラムへの参加
実施日：2025 年 3 月 1 日
テーマ：『有事に医療体制を継続するために～経験から学ぶ想定外への対応～』
方法：Web聴講
参加者：医療安全管理室・看護部 小川 麻美
 - 2024 年度 医療安全オンデマンドセミナー第四弾への参加
実施日：2025 年 3 月 31 日
テーマ：①身体抑制を再考する
②転倒転落安全ラウンドを再考する
③転倒転落におけるKYTを再考する
方法：Web聴講
- 院内安全ラウンドの実施
- 院内広報誌(RM通信)の発行
- 2024 年度医療安全報告件数

ヒヤリハット	745 件
アクシデント	7 件
その他	2 件
総 計	754 件

院内感染予防対策委員会

委員長 小池 伸定

医局 病院長

活動概要

微生物等による感染の予防について討議・決定する。院内感染発生時には適切な措置を示し、拡大を防止するとともに日常における衛生管理を行う。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- 感染防止ラウンドの実施（1 回 / 週）
- 前期全体会の開催
 実施期間：2024 年 9 月 1 日～2024 年 9 月 30 日
 テーマ：医療安全管理・院内感染予防対策委員会合同企画
 『～一緒に考えよう「感染対策の K Y T (危険予知トレーニング)」～』
 方法：院内 e ラーニング形式
 対象者：全職員
- 後期全体会の開催
 実施期間：2025 年 3 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
 テーマ：『手術部位感染』
 方法：院内 e ラーニング形式
 対象者：全職員
- 感染防止対策加算に係る合同カンファレンス
 第 1 回：2024 年 4 月 19 日 日野市立病院にて開催
 第 2 回：2024 年 7 月 19 日 オンライン開催
 第 3 回：2024 年 10 月 18 日 合同訓練
 第 4 回：2025 年 1 月 17 日 オンライン開催

教育委員会

委員長 齋田 真

医局 副院長

活動概要

病院を取り巻く社会情勢がどのように変化しても、これに対応できる能力のある人材を育成する。
職員の職業能力の開発・向上のための教育・訓練・研修等について討議決定する。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- 新入職員オリエンテーションの企画運営
 - 新入職員オリエンテーション
実施日：2024 年 4 月 1 日
 - 新入職員オリエンテーション 3 ヶ月フォローアップ研修
実施日：2024 年 7 月 1 日
 - 新入職員オリエンテーション 6 ヶ月フォローアップ研修
実施日：2024 年 10 月 1 日
 - 新入職員オリエンテーション 12 ヶ月フォローアップ研修
実施日：2025 年 3 月 4 日
- 入職 2 年目職員フォローアップ研修の企画運営
実施日：2025 年 1 月 21 日
- 講習会の企画運営
実施期間：2024 年 11 月 1 日～2024 年 11 月 30 日
テーマ：『車椅子の正しい使い方』
対象者：全職員
- 院内 e ラーニング形式での講習会（全 15 回）の管理
- 全職員対象の講習会の管理
- 学会や院外研修会等への情報提供、研修記録および研修費用等の管理
- 会議室のスケジュール管理
- 院内図書の管理
- 患者図書の管理
- クラブ活動の管理
- 南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラムの管理
臨床検査科「当院における市大腸がん検診便潜血検査結果についての報告」 2025 年 1 月 22 日

倫理委員会

委員長 原田 信比古

医局 理事長

活動概要

医療の現場における「医の倫理」の諸問題や「患者の権利」に関する課題を明らかにし、研究・検討する。また、人間の生命尊厳上の倫理課題についても研究・検討する。併せて臨床治験実施の是非、実施要領について検討する。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- 抗癌剤等の新規採用等に関する検討（説明会の開催等）
 - イミフィンジ
- 臨床研究参加の期間延長申請に関する検討
 - 食道癌に対する集学的治療に対する評価の検討
—後方視的多施設観察共同研究—
- 学会演題発表の新規申請に関する検討
 - ブデソニド経口製剤の使用経験
 - 当院における血球成分吸着除去療法の使用検討
 - 「閉塞性大腸がんに対して大腸ステント挿入後、内視鏡で口側病変を観察するべきか」についての検討
- 学術論文投稿の新規申請に関する件
 - Safety and Outcomes Of Occult Hernia Repair in TAPP surgery

10 委員会活動報告

薬事審議委員会

委員長 齋田 真

医局 副院長

活動概要

薬剤の使用・管理等について評価・検討し、適正な薬物療法を促進することおよび採用薬剤の適否等について検討し、経営に資する。

2024 年度 活動報告

【新規採用】

- ・スチバー錠 40mg 2024 年 1 月 22 日 新規レジメンのため
- ・アザニン錠 50mg 2024 年 1 月 22 日 治療に必須のため
- ・塩化ナトリウム注 10%シリンジ 2024 年 3 月 31 日 業務効率向上・安全性向上のため
- ・シアノコバラミン注 1000mg 2024 年 4 月 1 日 フレスミン注代替薬として
- ・スガマデクス静注用 200mg 2024 年 6 月 1 日 業務効率向上・安全性向上のため
- ・ツートラム錠 25mg 2024 年 7 月 1 日 がん疼痛管理向上のため
- ・オクトレオチド酢酸塩注 2024 年 7 月 11 日 サンドスタチン皮下注用出荷停止のため
- ・ミノサイクリン塩酸塩静注用 100mg 2024 年 9 月 18 日 ミノマイシン点滴静注用薬価収載削除のため
- ・レスリン錠 25mg 2024 年 11 月 25 日 患者治療向上のため
- ・ツムラ抑肝散エキス顆粒 2024 年 11 月 25 日 患者治療向上のため
- ・強力ネオミノファーゲンシー静注 20mL 2024 年 11 月 30 日 ヒシファーゲン配合静注シリンジ販売中止のため

【採用削除】

- ・リプル注 5 μ g 2024 年 1 月 22 日 適正在庫管理のため
- ・ハベカシン注 100mg 2024 年 1 月 29 日 適正在庫管理のため
- ・アナフラニール点滴静注 25mg 2024 年 2 月 26 日 適正在庫管理のため
- ・アスコルビン酸注 2024 年 2 月 26 日 適正在庫管理のため
- ・フレスミン注 2024 年 3 月 31 日 薬価収載削除のため
- ・フラビタン注 2024 年 3 月 31 日 薬価収載削除のため
- ・エクセラーゼ配合錠 2024 年 3 月 31 日 薬価収載削除のため
- ・塩化ナトリウム注 20mL プラボトル 2024 年 3 月 31 日 業務効率向上・安全性向上のため
- ・ユニフィル LA 錠 200mg 2024 年 6 月 30 日 適正在庫管理のため
- ・デパケン錠 100mg 2024 年 6 月 30 日 適正在庫管理のため
- ・ツムラ小青竜湯 2024 年 6 月 30 日 適正在庫管理のため
- ・スリピリン注射用 250mg 2024 年 7 月 16 日 薬価収載削除のため
- ・セレストアミン配合錠 2024 年 12 月 31 日 適正在庫管理のため

個人情報保護管理委員会

委員長 小池 伸定

医局 病院長

活動概要

病院が取り扱う個人情報の適切な保護のための項目を定め、病院に勤務する全ての職員および関係業者が、その業務内容に応じた個人情報保護を遵守するための教育を行う。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- 「規程・規約・マニュアル等の見直し」について報告
東京都福祉保健局の名称を「東京都保健医療局」へ変更
面会時間変更
- 内部監査の実施
実施日：2024 年 5 月 30 日
- 新入職員オリエンテーションでの講義
実施日：2024 年 4 月 1 日
- 全体会の開催
実施期間：2024 年 6 月 6 日～2024 年 6 月 30 日
テーマ：第一部「法律の概要と当院での取り組み」
第二部「情報セキュリティーマナーとルール+最新事例」
最新事例 ①情報セキュリティーマナー
②事例より学ぶ個人情報保護
第三部「内部監査結果報告」
方法：院内 e ラーニング形式
対象者：全職員
- 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス一部改正」について報告
- 「サイバーセキュリティ情報共有」について報告
- 「東京都保健医療局医療法に基づく立入検査 結果報告」について報告
- 年間スケジュールの作成

10 委員会活動報告

褥瘡対策委員会

委員長 尾崎 雄飛

医局 消化器外科医長

活動概要

院内における褥瘡発生を予防し、褥瘡発生時には適切な治療・看護を行うための検討をする。
また、体圧分散用具等の管理、職員に対する必要な教育を行う。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- 病棟症例ラウンド・評価・褥瘡発生率の報告
- NST 委員会との合同勉強会の開催
実施日：2024 年 11 月 8 日
テーマ：『スキンケアの基礎・創傷ケアについて』
講師：皮膚・排泄ケア認定看護師

NST 委員会

委員長 尾崎 雄飛

医局 消化器外科医長

活動概要

栄養管理を必要とする全ての症例に対し、適切な栄養管理を提供し、症例個々の予後や QOL を向上させ、早期回復および退院を促進する。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- 年間活動報告
 - NST 介入対象患者：42 人
 - NST 介入実施延べ日数：1,429 日
 - 入院時スクリーニング実施件数：4,233 件
- 栄養管理体制の基準の改定
 - 標準的な栄養スクリーニングを含む栄養状態の評価として GLIM 基準をベースに改定し病棟へ周知した。
- 褥瘡対策委員会との合同勉強会の開催
 - 実施日：2024 年 11 月 8 日
 - テーマ：『スキントアの基礎・創傷ケアについて』
 - 講師：皮膚・排泄ケア認定看護師

10 委員会活動報告

栄養管理委員会

委員長 尾崎 雄飛

医局 消化器外科医長

活動概要

消化器疾患専門施設としての特質に鑑み、病状に応じた適切な食事を提供することにより、疾病の治療・病状回復の一層の促進を図る。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- 献立の変更等についての検討（月1回）
看護部と協働し、患者の身体状況にあわせた献立を検討



緩和ケア委員会

委員長 尾崎 雄飛

医局 消化器外科医長

活動概要

癌の全ての病期、治療過程において出現する身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな問題に対し積極的、継続的かつ総合的な緩和ケアを提供するための体制作りを行う。

2024 年度 活動報告

- 全体会の開催
実施期間：2024 年 7 月 1 日～2024 年 7 月 31 日
テーマ①：『痛みとは？』
対象者：全職員
テーマ②：『癌の基礎知識について』
対象者：医師・看護師・薬剤師
講師：薬剤科 川辺 桂太郎
方法：院内 e ラーニング形式
- ACP の取り組み
 - 入院患者への ACP 聞き取り <26 件実施>
 - PEACE 研修への参加
実施日：2024 年 5 月 25 日、2024 年 10 月 26 日、2025 年 2 月 8 日
会場：東京女子医科大学病院
 - PEACE 研修を基とした ACP のロールプレイを実施し、動画にて記録を共有
- コラム「いちよう」の作成
 - 全患者を対象としたコラムの作成および掲示
第 1 回「吐気と嘔吐」 第 2 回「検査休薬、鎮痛剤（ロキソニン・ムコスタ）について」
号外「緩和図書」 第 3 回「便秘と下痢」 第 4 回「不眠」 第 5 回「食思不振」
- 患者向け図書の展示および管理
- パンフレット「痛み治療をうけられる患者様へ」の見直し
 - トラマール（ツートラム）について追加し、対象患者へ配付
- 教育活動・緩和ケアスタッフの知識向上
 - 第 29 回 日本緩和医療学会学術大会への参加
実施期間：2024 年 6 月 14 日～2024 年 6 月 15 日
テーマ：『時空を超えて、希望につながる緩和医療、サイコオンコロジー』
会場：神戸コンベンションセンター
 - 第 47 回 死の臨床研究会年次大会への参加
実施期間：2024 年 10 月 12 日～2024 年 10 月 13 日
テーマ：『つらさやかなしさを持つ人々と共に歩む』
会場：札幌コンベンションセンター
 - 第 1 回 八王子緩和ケア研究会への参加
実施日：2024 年 9 月 18 日
テーマ：『住宅と病院をつなげる～顔の見える関係づくりから～』
会場：みなみ野病院
- 小型シリンジポンプ運用パンフレットの作成

10 委員会活動報告

防災対策委員会

委員長 尾崎 雄飛

医局 消化器外科医長

活動概要

消防法に基づき、当院の防災管理についての検討および訓練計画の策定と実施を行い、災害の予防と人命の安全・被害の軽減を図る。

地震災害に対する予防措置・震災時の活動計画・安全措置を講ずるとともに日常における訓練計画の立案・マニュアル整備・訓練の実施等および教育啓発活動を行う。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- BCP 策定（進行中）
- 薬剤・非常食・飲料水のローリングストック
- ポータブル発電機・除雪機の点検および給油
- 非常用 LED ランタンの増設
- 院内暴力等発生時マニュアル策定
院内一斉放送【レッドコール】ルールの構築およびマニュアル作成
- 訓練の実施
 - 法定設備点検（全館停電）を利用した被害報告（トランシーバー使用）訓練の実施
実施日：2024 年 4 月 21 日
 - 防災訓練の実施
実施日：2024 年 5 月 23 日・2024 年 11 月 28 日
内容：消火・通報・避難
 - 安否確認訓練の実施
実施日：2024 年 5 月 31 日
内容：安否確認システムの使用
 - 止水板設置訓練の実施
実施日：2024 年 8 月 7 日
 - エレベーター内閉じ込め救助訓練の実施
実施日：2024 年 10 月 17 日
 - EMIS 入力訓練の実施
実施日：2025 年 2 月 17 日～2025 年 2 月 21 日
対象者：幹部職員
- 啓発活動
 - 新入職員オリエンテーションでの講義
実施日：2024 年 4 月 1 日
内容：院内緊急地震速報システム・安否確認システム・防火設備について
 - 東京消防庁「秋の火災予防運動」の呼びかけ
実施日：2024 年 11 月 6 日

安全衛生委員会

委員長 尾崎 雄飛

医局 消化器外科医長

活動概要

労働安全衛生法の趣旨に基づき、職員の安全衛生と健康を守るための対策について検討・立案する。

2024 年度 活動報告

- 定期委員会の開催
- 2023 年度年次有給休暇取得状況（部署別・個人別）調査報告および改善勧告
- 2024 年度定期健康診断・特定業務従事者健康診断の実施・届出
- 婦人科検診・被扶養者健康診断の実施に関する報告
- ストレスチェックおよび同結果に対する集団分析の実施
- 内視鏡センター・手術室・病理室における作業環境測定の結果（ホルムアルデヒド・エチレンオキシド）
- 感染症流行状況の報告・感染予防対策の勧告
- COVID-19 等、感染予防対策の制限緩和に関する報告
- 「時間外・休日労働に関する協定」に関する報告
- 電離放射線障害防止規則に基づく報告・対策立案

11 診療に関する統計

外来患者

外来患者数

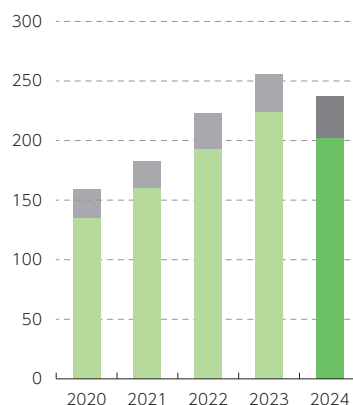
■ 外来患者数	57,989 人
■ 新患数	3,115 人

紹介患者数

■ 紹介患者数	1,736 人
■ 紹介率	18.0%

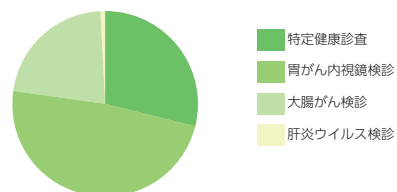
人間ドック件数

■ 1日コース	203 件
（スタンダードドック）	187 件
（胃カメラドック）	12 件
（大腸 CT ドック）	4 件
■ 2日コース	30 件
（プレミアム消化管ドック（大腸 CT））	27 件
（プレミアム消化管ドック（大腸 X 線））	3 件
■ 有所見率	11.2%
（悪性腫瘍発見率）	3.9%



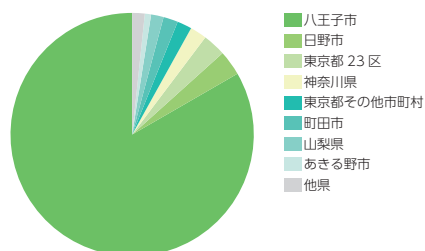
八王子市健診件数

■ 特定健康診査	467 件
■ 胃がん内視鏡検診	782 件
■ 大腸がん検診	354 件
■ 肝炎ウイルス検診	11 件



地域別外来新患数

	人 数
八王子市	2,595 人
日野市	102 人
東京都 23 区	94 人
神奈川県	73 人
東京都その他市町村	63 人
町田市	54 人
山梨県	48 人
あきる野市	34 人
他県	52 人
合計	3,115 人



入院患者

入院患者数

■ 在院患者数	25,224 人
■ 入院患者数	4,233 人
■ 退院患者数	4,161 人

平均在院日数

■ 平均在院日数	5.8 日
----------	-------

病床稼働率

■ 病床稼働率	70.5%
---------	-------

11 診療に関する統計

手術室・中央材料室

手術数

■ 全身麻酔

571 件

■ 腰椎麻酔・局所麻酔

3 件

臓器別難易度別手術数

* 日本消化器外科学会分類

高難度手術

食道	食道切除再建術	1
胃・十二指腸	胃全摘術（噴門側胃切除術を含む）	11
直腸	低位前方切除術	19
肝	肝切除術（外側区域を除く区域以上）	4

胆	胆嚢悪性腫瘍手術（単純胆嚢摘出術を除く）	1
脾	脾頭十二指腸切除術	9
	脾体尾部切除術（悪性）	4
	脾全摘術	1

合計 50 件

中難度手術

胃・十二指腸	胃切除術（幽門側胃切除術、幽門温存胃切除術、分節・横断胃切除術を含む）	17
小腸・結腸	小腸部分切除術（悪性）	2
	回盲部切除術（悪性）	14
	結腸部分切除・S状結腸切除（悪性）	44
	結腸右半切除術	6
	結腸左半切除術	2
	腸閉塞手術（腸管切除を伴う）	6
	腸瘻造設・閉鎖術（腸管切除あり）	7

直腸・肛門	高位前方切除術	18
	Hartmann手術	2
	直腸肛門悪性腫瘍手術（経肛門的）	2
胆	胆管切開切石術	3
	胆道再建術	1
脾	脾体尾部切除術（良性）	1
その他	急性汎発性腹膜炎手術	2
	腹壁ヘルニア手術	11

合計 138 件

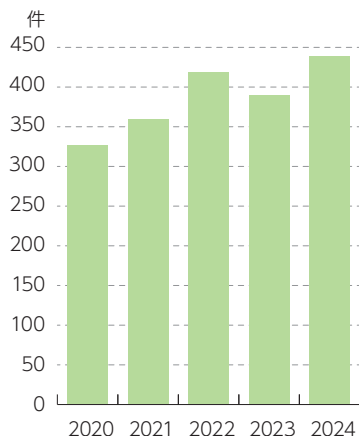
低難度手術

胃・十二指腸	胃腸吻合術（十二指腸空腸吻合術を含む）	4
	胃瘻造設術（PEGを除く）	1
	胃局所切除術（楔状切除を含む）	6
小腸・結腸	小腸部分切除術（良性）	4
	回盲部切除術（良性）	3
	結腸部分切除・S状結腸切除（良性）	11
	虫垂切除術	43
	腸瘻造設・閉鎖術（腸管切除なし）	6

肝	肝部分切除術	6
胆	胆嚢摘出術	130
その他	腹壁ヘルニア・鼠径ヘルニア手術	158
	試験開腹術	1
	その他	13

合計 386 件

腹腔鏡下手術数



腹腔鏡下手術

胃	20
小腸	2
結腸	72
直腸	34
虫垂	42
胆嚢	128
ヘルニア	137
腸閉塞	5
その他	1

合計 441 件

放射線科

CT 検査数

■ CT 検査	5,604 件
■ 大腸 CT 検査 (CTC)	520 件

造影撮影数

■ 注腸造影	209 件
■ 食道・胃・十二指腸造影	79 件

その他の放射線検査数

■ 単純撮影	8,307 件
■ CV ポート留置	79 件
■ PTCD/PTGbD	4 件

※PTCD（経皮経肝胆管ドレナージ） ※PTGbD（経皮経肝胆嚢ドレナージ）

ME 科

血液浄化治療件数

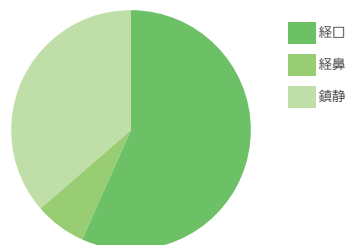
■ CAP（血球成分除去）療法	123 件
■ CART（腹水濾過濃縮再静注法）	18 件

11 診療に関する統計

内視鏡センター

上部消化管内視鏡検査数

■ 上部消化管内視鏡検査	6,211 件
(経口)	3,535 件
(経鼻)	424 件
(鎮静)	2,252 件



下部消化管内視鏡検査数

■ 下部消化管内視鏡検査	3,628 件
■ カプセル内視鏡検査	14 件

内視鏡的治療件数

■ 大腸ポリペクトミー	1,481 件
■ 食道・胃・十二指腸EMR (内視鏡的粘膜切除術)	20 件
■ 食道・胃 ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術)	59 件
■ 大腸 ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術)	34 件
■ ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)	132 件
■ EST (内視鏡的粘膜切除術)	37 件
■ EVL (内視鏡的食道胃静脈瘤結紮術)	2 件
■ FNA (超音波内視鏡下穿刺術)	24 件
■ 上部消化管拡張術	14 件
■ 上部消化管緊急止血術	19 件

臨床検査科

臨床検査数

■ 臨床検査	90,677 件
--------	----------

項目別臨床検査数

■ 生化学	29,565 件
■ 血算	29,006 件
■ 尿一般	7,896 件
■ 尿沈渣	428 件
■ 血液型	735 件
■ 血液凝固	1,122 件
■ 血液交差	241 件
■ 便潜血	736 件
■ 細菌	625 件
■ 血液ガス	278 件
■ 細胞診	153 件
■ 病理	2,972 件
■ 外注	16,920 件

11 診療に関する統計

生理学・超音波検査科

超音波検査数

■ 超音波検査	9,683 件
■ 超音波内視鏡検査	143 件

部位別超音波検査数

■ 腹部	6,972 件
■ 骨盤	4 件
■ 腹部+骨盤	2,468 件
■ 下肢	62 件
■ 乳腺	1 件
■ 甲状腺	23 件
■ 心臓	136 件
■ その他	17 件

その他の生理学検査数

■ 心電図	4,813 件
■ 肺機能検査	740 件
■ 眼底カメラ	217 件
■ 呼気試験	104 件

薬剤科

薬剤管理指導件数

■ 指導件数	1,440 件
--------	---------

処方箋枚数

■ 院外処方箋	33,105 件
■ 院内処方箋	12,309 件

無菌製剤調製件数

■ 調製件数	3,102 件
--------	---------

外来癌化学療法件数

■ 化学療法件数	1,889 件
----------	---------

薬剤別外来癌化学療法件数

■ CPT-11	16 件	■ DOC	6 件
■ S1+DOC	3 件	■ オプジーボ	30 件
■ FOLFOX	188 件	■ FOLFOX+Bmab	125 件
■ FOLFOX+Cmab	45 件	■ FOLFOX+オプジーボ	20 件
■ FOLFIRI	87 件	■ FOLFIRI+Bmab	208 件
■ FOLFIRI+Cmab	88 件	■ FOLFIRI+AFL	7 件
■ FOLFOXIRI	8 件	■ ロンサーフ+Bmab	87 件
■ SOX	19 件	■ SOX+オプジーボ	6 件
■ Cmab	27 件	■ GEM	22 件
■ GEM-CDDP	66 件	■ GEM+S1	19 件
■ GEM+nabPTX	280 件	■ FOLFIRINOX	77 件
■ nal-IRI+CPT-11	76 件	■ キイトルーダ	29 件
■ IFX	93 件	■ ベドリズマブ	74 件
		その他	183 件

11 診療に関する統計

ストーマケア

ストーマケア件数（延べ数）

■ 外来患者	104 件
■ 入院患者コンサルト	3 件

種類別ストーマケア人数（実数）

■ S 状結腸単孔式	33 件
■ 結腸双孔式	4 件
■ イレオストミー	6 件
■ ダブルストーマ	2 件

○ストーマケア内容：術前術後の装具選択・ストーマサイトマーキング・ケア確認・皮膚トラブルの確認等

栄養科

栄養食事指導件数

■ 入院患者	1,556 件
■ 外来患者	288 件

食種別特別食数

■ 術後食	8,701 件	■ 腎臓食	168 件
■ 低脂肪食	6,728 件	■ 注腸食	422 件
■ 潰瘍食	1,459 件	■ 潰瘍性大腸炎食	1,126 件
■ 糖尿病食	2,248 件	■ 貧血食	707 件
■ 肝臓食	1,085 件	■ 低残渣食	1,111 件
■ 減塩食	953 件		

病診連携室・医療相談室

入退院支援件数

■ 退院支援件数	60 件
----------	------

退院先別件数

■ 自宅	22 件
■ 施設	10 件
■ 病院	22 件
（医療療養病棟）	2 件
（緩和ケア病棟）	2 件
（地域包括ケア病棟）	7 件
（回復期リハビリテーション病棟）	1 件
（その他）	10 件
■ 相談中止	6 件

医療法人財団 中山会 八王子消化器病院 2024 年度 事業報告

発 行 日 2026 年 2 月 1 日

発 行 八王子消化器病院

編 集 病診連携室・医療相談室

印刷・製本 株式会社 丸芝



〒192-0903 東京都八王子市万町 177 番地の3
TEL:042-626-5111 (代表)
URL:<http://www.hachiojisyokaki.com>